

87 あさひなだけ 朝日奈岳 (720m)

地域 三八上北地方

2009年4月5日

[ルート] 田子・甲地、朝日奈林道⇄山頂
[参加者名] CL T.SAITOU 他9名
[コースタイム] 合浦 P6:30→道の駅さんのへ 8:10~8:18→朝日奈林道入る 8:45→登山口 8:53
登山開始 9:18→標識(山頂まで 160m)9:47→山頂 9:50~10:12→登山口
10:31~10:45→直売所 11:05~11:30→道の駅さんのへ 11:35~12:30(昼食)→
道の駅とわだ 13:03~13:30→合浦 P14:45

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

県道 104 号 田子町方面へ→ガーリックセンター→相米・甲地方面道路へ入る→甲地集落過ぎる
→十字路右折(朝日奈林道)→12,3 分で左手に登山口(道が大きく右へカーブしている辺り、案内板
有り)

[山行記録]

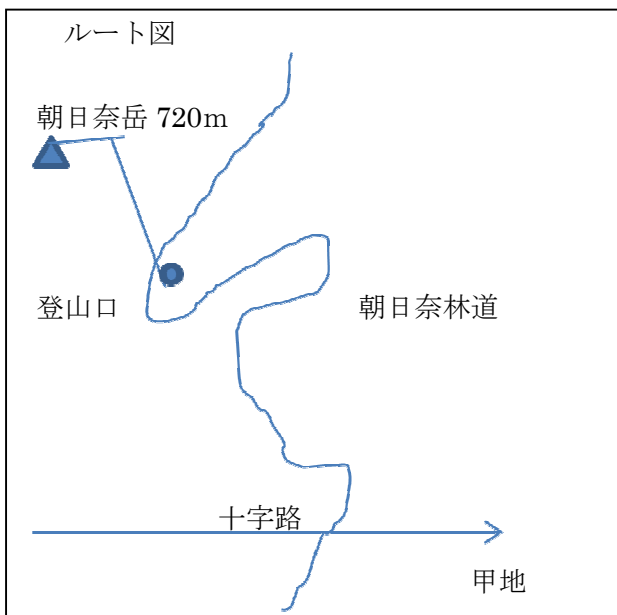
田子町中心部より甲地(かっち)集落を目指す。集落を過ぎ十字路に来たら右折、朝日奈林道へ入る。さてこの林道の積雪の有無に山行の明暗がかかっているのだが、ラッキーな事に除雪されている。(あなた達、歩きに来たんでしょに…)十字路から 12,3 分、道が大きく右へカーブしている辺り左手に登山口があるらしい。案内板が雪から姿を出している。道路に雪はないが駐車場は雪有りで、車は少し先の道路上に停める。

コンパスを合わせ、9:18 登山開始。時折夏道に乗りながら雑木林の中、緩やかな斜面を登っていく。「ちょっと右寄りじゃないですか。」のリーダーの後ろからの声にやや左に軌道修正。「山頂まで 160m」の標識(地図上でジグザグ登山道が終わった辺りか)を過ぎればじきなだらかで広い山頂に到着。

山頂インタビュー

T.A さん「山頂にはハンノキがたくさんありました。」
M.O さん「やっと体が暖まって、さあ、これからと思ったら着いてしまった。」
M.K さん「ヤドリギになりたい。」??? M.K さん「シラカバの木肌が美しい。触り心地いい。」
Y.N さん「アメダス初めて見て感激！」 S.T さん「あっという間に山頂。うふふ。」
M.S さん「やっと着きました。皆さんの健脚にはびっくり。(ゼイゼイ)後は帰り、下山に気をつけて。」
天気はいいが春霞か景色はあまりはっきりせず、風も割と強い。あまりゆっくりはせず下山。

報告 Y.NARA



2009年1月18日

[ルート] 恵光院⇄名久井岳山頂
 [参加者名] CL M.KIKUCHI 他8名
 [コースタイム] 前田パーキング 6:00→東バイパスマクドナルド店 6:30→十和田道の駅 7:45→恵光院駐車場 8:30→出発 8:50→小休止 9:20→薬師堂 10:05→月山542m 月山神社奥の殿 10:15→分岐 10:50→頂上 11:05 昼食 出発 11:40→月山神社奥の殿 12:07 →駐車場着 12:50→十和田道の駅 13:35→出発 14:00→七戸道の駅→成田宅以降順次送って頂いた 中村由姫枝宅着 16:00

[登山口までのアプローチ、登山口の様子] 南部町長谷ぼたん園、恵光院を目指す。

[山行記録]

6:00 前日から借りていた10人乗りのレンタカーで、前田パーキングで7名集合。外はまだ暗い。薄あかりもさしていない。残る2名のN夫妻との待ち合わせに向かう。N夫妻をのせて、予定どおり6:30 東バイパスマクドナルド店を出発。7:00 車中でオレンジ色の大きな朝日を見て、一同大歓声があがる。7:30 十和田市に入って道の標識が野崎で、刈り取られたたんぼか畑と思われる雪原の地表から上1m くらいの高さまで朝もやがたちこめて白くなっている。道路の気温を表示する電光板は-9度。青森を出たときは、-1度だったので、自分の目をうたがったが、他の人にも聞いたが、まちがいなさそうである。7:45 十和田道の駅でトイレタイム。8:15 左が法光寺、右が恵光院(けいこういん)の二又を右に進む。8:30 駐車場に到着。トイレは閉鎖されている。かんじきをザックにつけて、身支度をととのえ出発。8:50、今日は先着の登山者はいないが、夏道の雪がへこんでいるので登山道とあきらかにわかる。登りはじめは広い道幅、ゆるい勾配で足取りも軽い。私個人は2ヶ月半ぶりの山行だったので、出だしがゆるいのは非常に助かる。進むに従って道は狭くなっていく。9:20 小休止、衣服の調節をする。休憩所を過ぎたあたりから急な登りが続く。雪がさらさらして、くつのふんばりがきかない。慎重に一步ずつ登る。青森の水分を含んだ雪とは 大分勝手が違う。10:05 ひとしきり登りが続いたところで薬師堂到着。10:15 少し下って登って月山到着。542m、月山神社奥殿で手をあわせて、あと少しの頂上をめざして進む。このあたりから雪も深くつはすっぽりかぶるくらい。先頭のS.Nさんに感謝しつつ、後方を歩くのは非常に申し訳なく、ありがたく、ついてゆきます。今年は、青森市は積雪が少ない分、県南は雪が多いらしい。10:50 左に分岐がでていた。のぞくと、かなり急なぐらでロープがはってある。ロープにつかまっても恐い感じた。右に進み頂上を目指す。雪はいっそう深くふくらはぎくらいはありそうだ。依然先頭のS.Nさんに感謝で一杯。11:05 頂上到着。お天気に恵まれ、360度見渡せる。円形の金属板に東西南北の山の名前が掘ってある。食卓にうってつけて、そこでゆったりと昼食をとる。風もなく、冬山の登山とは思えない快適な昼食で、にぎやかな笑い声が続く。辻村さんが一口まんじゅうを上下に、間に一口チーズをはさんで新しい食品を発見。なかなか美味である。皆も試してみる。大うけである。私も試してみたが、と



てもよい。皆さんもおためしあれ。登ってきたのとは別な道が法光寺へ行く道である。すこし下ったところに避難小屋がある。S.Nさんが見てきたらしく、ストーブがついていたそうです。平成17年の市民登山で来たときはここで昼食をとったことを、S.Nさんの言葉から思い出した。11:40 下り出発。登りの時に比べ雪はもうとけかかっている。水分を含んだ雪である。12:05 月山、衣服を調節する。12:50 駐車場着。13:35 十和田道の駅着。

報告 Y.NAKAMURA